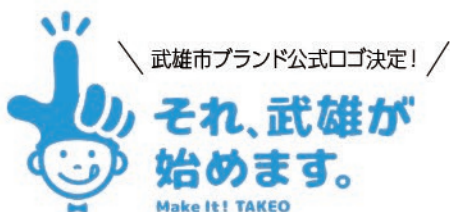




TAKEO

広報武雄 No.160 2019年6月号



CONTENTS

▶特集	水害から身を守る	…4
ニュース	武雄市図書館・歴史資料館 年間来館者100万人達成! 「いきがづくり・仲間づくり」始めます。	ほか …2
キッズウィークのお知らせ		…9
図書館イベント		…10
私の趣味自慢		…11
カレンダー		…13
お知らせ	平成31(令和元)年度集合徴収のご案内 歯周疾患検診を実施します	…15 ほか
おたんじょうおめでとう		…26



あじさい(表紙・上記写真)
 今月号の表紙は武雄町在住のカメラマン、高見修一郎さんが撮影された写真です。高見さんはカメラマン歴26年、8年前に佐世保市より移住し写真スタジオをオープン。幅広い世代の写真撮影を行ってられます。お問合せはスタジオアーク ☎0954-33-0102まで。

高見修一郎氏



市長だより

先日、ある会議で「95cmの目線でまちをつくる」という話題が出ました。95cmとは子どもの目線の高さ。つまり、子ども目線でまちづくりをしましょう、という話なのですが、例えば、車椅子に乗っている方の目線の高さは約100cmだし、他にはおばあちゃんの目線ということもできる。95cmの目線とは、子どもだけでなく障がい者や高齢者など、様々な立場の方の目線でもあるのではないかと。

「95cmの目線でまちづくり」とは、年齢や境遇を問わず、みんなにやさしいまちをつくること。そう考えた瞬間、この言葉が胸にストンと落ちました。

これからは95cmの目線を大切に、世代や立場を超えて、いろんな人の心を通わせて交流できるまちづくりに取り組んでいきたいと思っています。

武雄市長 小松 政

発行・編集 / 武雄市企画部 広報課 ☎0954-23-9121
 印刷 / 有限会社 四季の丘印刷